

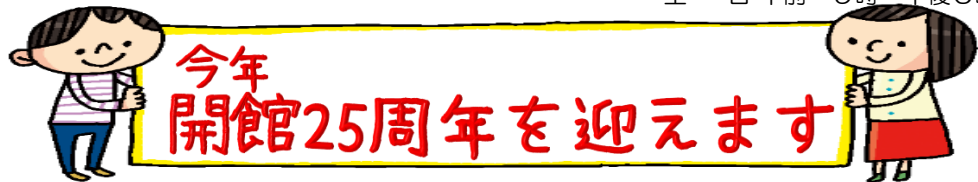
ここがいい! こながい



小長井図書館だより

2024年 4月号 No.284

諫早市立小長井図書館
〒859-0165
諫早市小長井町小川原浦825
(小長井文化ホール内)
0957-34-2972
開室時間
火~金 午前10時~午後6時
土・日 午前 9時~午後5時



小長井文化ホールは、平成11年(1999年)11月1日にオープンしました。図書館は12月1日に蔵書数約15,000冊で開室しました。初年度の貸出利用は、一般書2,441冊・児童書4,348冊・視聴覚資料209本、利用者数3,164人でした。2年後の平成13年度には、一般書10,076冊・児童書13,315冊・視聴覚資料5,612本利用者数14,840人となり、町内の方々から大変愛されていたことをうかがい知ることができます。

平成16年には、蔵書数約27,000冊となり利用も増加していたそうです。その後、市町村合併により諫早図書館の分室として今に至っています。現在の蔵書数は、約34,000冊で利用者数は4,172人です。(令和4年度実績より)人口の減少に伴い利用が少なくなっていますが、これからも皆様から愛される図書室づくりに努めてまいります。



4月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



おはなし会
休館日

新着案内【一般書】

『姥玉みつ』 西條奈加：著 潮出版社

名主の書役として暮らすお麓の閑居へ、幼馴染のお菅とお修が転がり込んできた。お麓は安穩の余生を送ろうとしていたが、ある日、お菅が空地で倒れた女と声が出せない少女を見つけてきて…。

『君を守ろうとする猫の話』 夏川草介：著 小学館

幸崎ナナミは中学2年生。喘息の持病があるため、学校が終わるとひとりで図書館に足を運ぶ生活を送っている。その図書館で、最近本がなくなっているらしい。館内の探索を始めたナナミは、翡翠色の目をした猫と出会い…。

『体に効くコーヒー』 1日3杯でやせる! 血糖値、血圧が下がる! プティック社

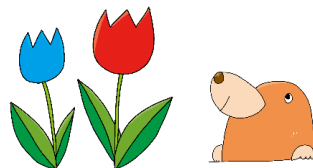
『にっぽん桜めぐり』 深澤武：写真・文 青菁社

『デジタル遺品の探し方・しまいかた、残しかた+隠しかた』

伊勢田篤史：著 古田雄介：著 日本加除出版



小長井図書館では、4月23日の「子どもの読書の日」に合わせて本を借りられた方に図書館で育てたお花の苗をプレゼントします。私たちが育てた苗を持ち帰って可愛がってください♪
*4月20日(土)~ なくなり次第終了です



一緒に「読書の花」も咲かせましょう!

あたらしく入った本

町内の小学3・4年生の
作品を展示しています



『だいじょうぶかなはじめてのしゅくだい』

くすのきしげのり：さく うめだちづる：え ひかりのくに
人間の姿になって小学校に入学した、クマのこ“つよし”と、サル
のこ“しずか”。さあ、今日から、小学校でのお勉強が始まりま
す。宿題も出たけれど、だいじょうぶかな？「だいじょうぶかない
ちねんせい」の続編。



『ひみつのたからもの』

豊福まきこ：作 B L 出版

ここは、ネコだけがすむネコの村。ネコたちはみんな、お魚を食
べたり、小鳥をつかまえるのが大好き。でもその中に、お魚が食べ
られないネコと、小鳥をつかまえようとしないネコがいました。2ひ
きには、あるひみつがあって…。



見に来てね！



『ふでばこのくにの冒険』

村上しいこ：作 岡本順：絵 童心社

ママが出ていってから、修人はすっかり乱暴者になってしまった。
修人のおしこめたやさしい気持ちが流れ込み、動けるようになった
フィギュア「ボーイ」は、ふでばこの文房具たちといっしょに、修
人を助けるための冒険を始め…。



<小長井中学校の卒業制作>

つまようじアート
2階踊り場に
掲示してあります。



※内容紹介は新刊全点案内より